

県内の遺跡・遺物29

## 栃尾城跡 (昭和35年県指定)

所在地：栃尾市大野町ほか

栃尾市街地は刈谷田川と西谷川の合流点を中心に形成されており、市街地の西側は衝立のように急峻な丘陵が連なっている。この丘陵の鶴城山(標高228m)一帯が栃尾城跡であり、中越地域では、長岡市の栖吉城跡(県指定史跡)と並ぶ堅固な城跡である。栃尾城の築城年代は明らかではないが、栖吉城に本拠を置く古志の長尾氏が、出城として室町時代中期以降に整備したと言われている。また、10歳代の上杉謙信(当時は長尾景虎)が中越平定を果たした時期の居城としても有名で、栃尾市の清酒銘柄にも「景虎」の名が残っている。

謙信没後の後継をめぐる「御館の乱」(1578年)では、景虎軍が栃尾城を一拠点としたため、景勝軍によって城下の館一帯が放火されたと古文書が伝えている。

本町の諏訪神社背後に登山道が整備されており、徒歩20分ほどで本丸に到着する。眼下に広がる栃尾市街と粟ヶ岳の眺めは、かつて謙信らが見た光景と同様であろうか。なお、二の丸には東屋、本丸直下には手洗い所が設置されており、広大な山城を巡るための整備が行き届いている。



栃尾城跡 (2000年6月6日撮影)



栃尾城本丸から見る栃尾市街

### 埋文にいがたNo. 31

発行(財)新潟県埋蔵文化財調査事業団

〒956-0845 新津市金津93番地1

TEL (0250) 25-3981

FAX (0250) 25-3986

e-mail:maibun@coral.ocn.ne.jp

印刷(株)文久堂